

野口幸太 特別支援教育従事者としての経歴

・武蔵野音楽大学ピアノ専攻（2003年）、同大学院ピアノ専攻修了（2005年）

・大学院終了後、ピアニストとして演奏活動をスタートすると同時に、世田谷区立祖師谷小学校特別支援学級の介添え員として勤務し、特別支援教育のキャリアをスタートする。

介添え員（教員を補助するアルバイト的立場）でありながら、学級での音楽授業、学芸会（音楽劇）の指導などを任されるようになる。

（この頃、アメリカの特殊学級教師で児童心理学者であるトリイ・ヘイデンのノン・フィクションを全巻読破。特別支援教育の考え方に大きく影響を受ける。

※なお、同著では「特殊学級」という翻訳になっているため、それに従っています。）

・その後、世田谷区立山野小学校音楽科講師（通常学級）、世田谷区立三宿小学校の特別支援学級介添え員、大田区立入新井第一小学校音楽科講師（通常学級）など、学校教育現場での経験を積む。

・上記の学校現場と並行して、発達障害・知的障害等の子供達の余暇活動の場としてVIVACE（ヴィヴァーチェ）を結成。同グループの子供たちの成果発表の場として、プロの演奏家たちと共演する舞台企画を行い、この取り組みが「世田谷区子ども基金助成事業」として認可される。（2011年）

・横浜市港北区にピアノ教室を開設（2011年）発達障害、知的障害等の診断をもつ子供達、或いはその傾向が示唆されている子供達のクラスを設け、常時4割の子が当コースの受講生。重度障害とされる子ども達でも、発表会の舞台に立ち、ステージマナーを身につけ演奏することができるなど、子供達が秘めている可能性について、より深く考えるようになる。

・2013～2020年世田谷区立松沢小学校、肢体不自由児学級・知的障害児学級において音楽科講師として勤務。（2014年からは通常学級も兼任）一般的な特別支援教育の概念では常識外の高度な合奏演目にトライし、いずれも成功をおさめる。

曲目例：「エレクトリカルパレード」「サウンドオブミュージック」「アラジン（アラビアンナイト）」

上記のほか、ピアニストという立場で、各支援学級において教室コンサート等を実施。

2021年現在、学校現場から離れ、いち民間人として、日々子ども達との経験を積んでいる。

